



社会福祉法人 恩賜財団 済生会和歌山病院

〒640-8158 和歌山市十二番丁45番地

TEL. 073-424-5185

FAX. 073-425-6485

ホームページ: <http://www.saiseikai-wakayama.org/>



済生会

わかやま

NEWS

第51号

発行日: 2025.2



～ 理念 ～

私たちは、地域社会に親しまれ、信頼され、患者さんも職員も元気が出る病院をめざします。

～ 基本方針 ～

1. 急性期医療を基本に機能と特性を明確にする。
2. 患者さんの立場に立って、安全で質の高い医療を効率的に提供する。
3. 透明性、公共性を保ち、地域社会と連携を密にし、地域から求められる病院にする。

患者さんの権利と責務

1. 平等に良質で適切な医療を受ける権利があります。
2. 医療に際して十分な説明を受ける権利があります。
3. 検査・治療等に際してそれを受ける事を自己の判断のもと承諾あるいは、拒否する権利があります。
4. 医療のどの段階においても他の医師や医療機関の意見を求める権利があります。
5. 自己の病状について情報を得る権利があります。
6. 自己の病状について個人的情報の秘密を守られる権利があります。
7. 医療に関する苦情を申し立てる権利があります。
8. 良質な医療を実現するために、自己の健康状態に関する情報を正確に伝える責務があります。
9. 治療費を支払う責務があります。
10. 良好な療養生活を守るために、定められた諸規則を守る責務があります。
11. 医師・看護師や病院職員の指示に従う責務があります。

— Information —

2025年(令和7年)乙巳の年、発展を期待して

謹んで新年をお祝い申し上げます。皆様におかれましては、良き新春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年もひとかたならぬご厚情を賜りましたことに心から感謝いたしております。

皆様方のお陰で無事に2025年(令和7年)の乙巳(きのとみ)の年を迎えることができました。

世間では新型コロナウイルス感染症のパンデミックがなかったように社会活動はコロナ禍前に戻ってきていますが、当院では、新型コロナウイルス感染症への対応や感染症対策の強化は引き続き感染対策チームが中心になって取り組んでおります。未だ、受診時や面会時に患者さんやそのご家族に大変ご不自由をおかけしていると感じていますが、院内クラスターの発生やご高齢の患者さんの重症化への懸念は否めないための対応であることをご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

さて、老朽化した建屋での一般診療、救急診療、手術等等は昨年皆様方のおかげで何とか乗り切ることができました。当院は和歌山医療圏の災害支援病院となっていますが、最近の地震や豪雨でも支障が出ているのが現状で、災害時の医療の支援ができるのか不安は否めません。恩賜財団済生会の病院は独立採算制であるため自院の収支を改善しないことには病院の改修や新築移転など夢のまた夢と言わざるを得ません。当院のビジョンとして、救急医療の充実、医大、日赤、ろうさい病院の高度急性期を担う病院や当院に登録いただいている病院と診療所に加えて介護施設、福祉施



済生会和歌山病院
院長 川上 守

地域と共に、和歌山と共に、これからも共に、済生会和歌山病院





設との連携と患者さんの満足度の向上につながる安全で質の高い医療の提供をあげていますが、それに向けて今年も職員一丸となって真摯に立ち向かう所存です。

2025年は「乙巳(きのとみ)」の年です。乙(きのと)は、十干の2番目で「木」の要素を持ち、草木がしなやかに伸びる様子や横へと広がっていく意味を持つようです。また巳(みへび)は、神様の使いとして大切にされてきた動物で、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルともされています。そのため乙巳(きのとみ)の年は、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になると考えられているようです。当院がさらに「発展」できることを期待していますが、皆様におかれましても乙巳の年を実感できる年になることを祈念いたしまして新年の挨拶とさせていただきます。

本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

～ 更生保護施設入所者に対する勉強会開催 ～

令和6年12月12(木)なでしこプランのひとつである「更生保護施設入所者に対する勉強会」を開催いたしました。

当院の感染管理認定看護師の佐藤慎悟師長より「冬の感染症から体を守る5つのポイント」と題して、コロナウイルス・インフルエンザ・ノロウイルスの特徴や予防(手洗い・マスクの重要性やせきエチケット)について講演を行いました。

参加者のみなさんは仕事終わりでお疲れもあるなか、真剣に聞き入っておられました。また、仕事の都合上、開始時間に間に合わなかった方は途中からの参加となりましたが、13名の方に参加して頂くことができました。

手洗いの実演の際には自ら挙手し参加される方もおられ、チェッカーを用いて洗い残しの有無を確認いただくと、「すごく丁寧に洗ったつもりなのに、こんなに洗い残しがあるなんて。びっくりしました!」、「これからはもっと意識しないとイケないですね」との声が聞かれるなど、和やかな雰囲気の中で盛会のうちに終えることができました。職員の方を含め参加者から感謝の言葉をいただくとともに、今後は運動や食事のことなどについても教えてもらいたいとの要望がありました。

済生会の理念である「施薬救療」、ソーシャルインクルージョンの実現に向けて、今後も継続して訪問や講演等の活動を行って参ります。



感染管理認定看護師
佐藤 慎悟



～ 新しい腹部超音波機器が導入されました ～

2024年12月に新しい腹部超音波機器が導入されました。これまでは1台でありましたがハイエンドエコー2台体制となり、以前のように皆さまを待たせることが少なくなりました。

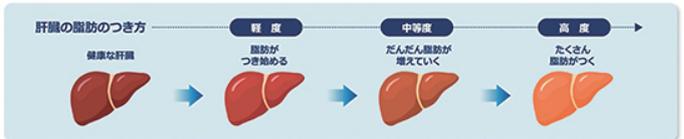
CanonのAplio i800(Liver package付属)という新機種で、和歌山県内でもトップクラスの性能を持ち合わせております。特に脂肪肝の患者様では肝線維化に加えて脂肪化の定量化も可能となり、脂肪性肝疾患の正確な評価ができるようになりました。これまでと同様に造影超音波検査を行うことにより肝腫瘍の精査が出来、CTやMRIでわかる腫瘍で特に深部に存在する場合はFusion imagingという手法を用いて、腹部超音波検査でどこに腫瘍があるか特定ができるようになり、腫瘍に対する焼灼治療がより行いやすくなりました。普段のスクリーニング検査でも病変の早期発見に威力を発揮致しますので、どんどん利用して頂ければと思います。技師 4名(臨床検査科・放射線科)体制で頑張らせて頂いておりますので、よろしくお願いたします。

当院では最新の 超音波診断装置(エコー)で 脂肪肝を調べられます

超音波を用いて体の内部を調べるエコー検査で、脂肪肝の評価ができます。

肝臓の脂肪化の程度を推定できる機能で、治療前後の数値を比較し、症状の改善を適正に評価することが可能です。非侵襲的な検査で、痛みや苦痛、被ばくはありません。検査をご希望の方はお気軽にご相談ください。

- 脂質異常症の方
- 肝機能障害の方
- 糖尿病や高血圧の生活習慣病の方
- メタボリックシンドロームの方 など



生活習慣の乱れ等が原因で肝細胞にたくさんの脂肪がたまり、脂肪肝に、そして脂肪肝が長くと、肝臓の細胞が壊れだし肝炎となり、さらに肝炎を長く放置すると、肝がんになるリスクが高くなると言われています。

代謝関連脂肪肝疾患 (MAFLD: Metabolic associated fatty liver disease)

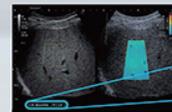
- 非アルコール性脂肪肝 (NAFLD: Nonalcoholic fatty liver disease)
- 非アルコール性脂肪肝炎 (NASH: Nonalcoholic steato-hepatitis)
- アルコール性肝障害 (ALD: Alcoholic liver disease)

肝硬変

肝がん

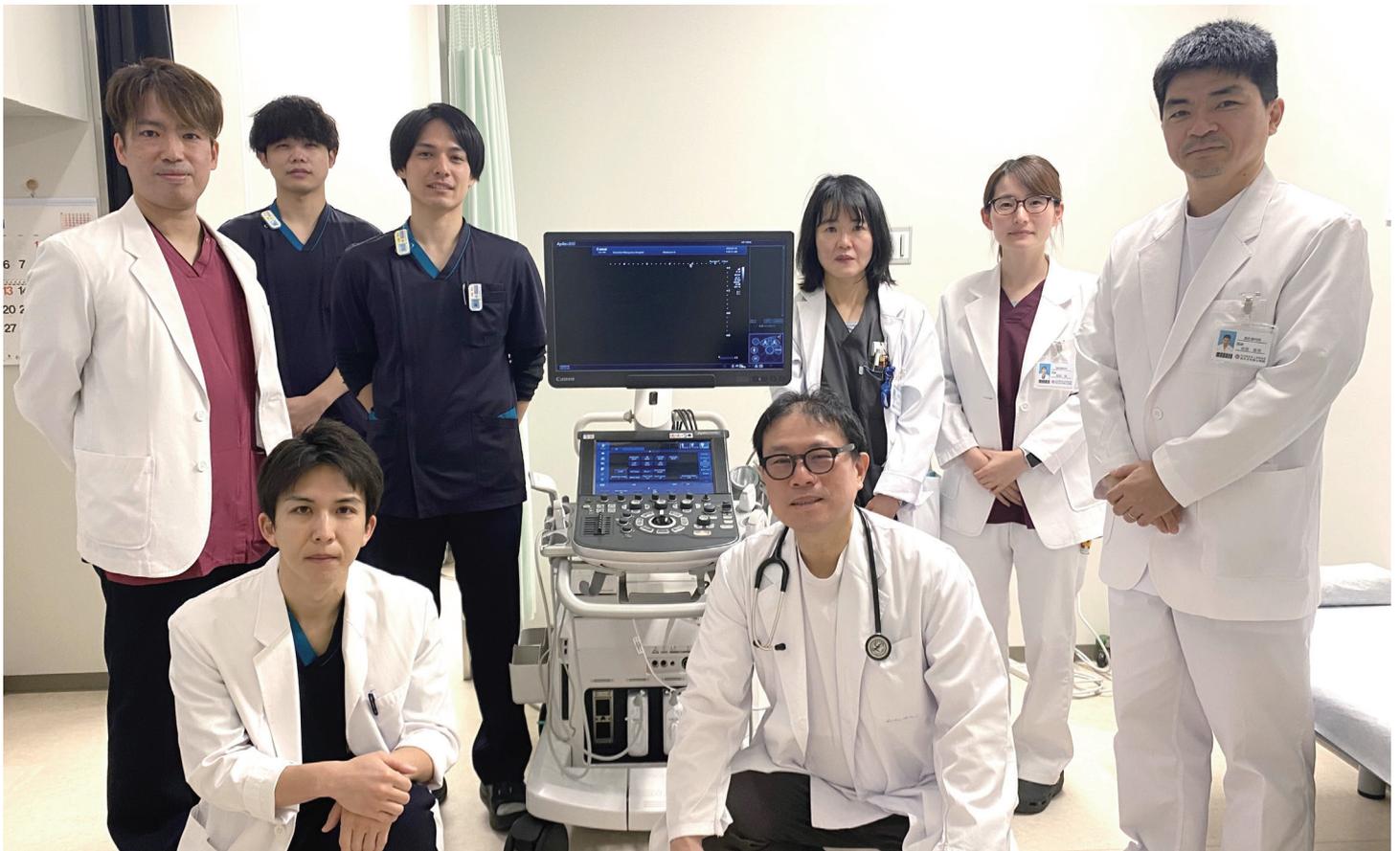


脂肪化の程度を推定



測定結果は、カラマツと右下に数値で表示されます。

0.66 dB/cm/MHz (R² 0.91)



～ 第7回全国済生会整形外科研究会学術集会開催 ～

令和6年9月14日(土)和歌山城ホールにて、第7回全国済生会整形外科研究会学術集会が開催されました。

総合座長は、院長の川上守が務め、全国の済生会病院の整形外科医師や地元和歌山の先生方など、現地参加者が23名・WEB参加者が16名の総勢39名が参加されました。

特別講演は、和歌山県立医科大学医学部 整形外科科学講座 教授 山田 宏先生を講師に迎え『骨粗鬆症リスクを有する脊椎疾患への挑戦 ～和歌山医大メモットの紹介～』をテーマに講演して頂きました。

シンポジウムでは、『骨粗鬆症性椎体骨折について』をテーマに済生会川口総合病院 主任部長・副院長・診療部長 新井嘉容先生より『当院における骨粗鬆症性椎体骨折に対する手術治療』、和歌山病院からも『DISHを伴う骨粗鬆症性椎体骨折の新しい手術療法』をテーマに神前拓平先生からなど全7症例の発表が行われ活発な意見交換が行われました。



～ 赴任のお知らせ ～



消化器内科
和田 梓 医師

2024年10月より済生会和歌山病院消化器内科に赴任した和田梓と申します。和歌山県立医科大学や橋本市民病院、和歌山労災病院での勤務を経て現在に至ります。消化器疾患の中でも主に消化管領域を専門としており、内視鏡を用いた正確な診断・治療に努め、早期発見・早期治療の重要性を意識しながら診療にあたっております。至らぬ点も多々あるかと思いますが、微力ながら和歌山県の医療に貢献できればと考えております。何卒よろしくお願い申し上げます。

専門領域：消化器内科
出身大学：和歌山県立医科大学
卒業：2018年 卒業



消化器内科
矢本 紗千 医師

10月より消化器内科に赴任して参りました矢本紗千と申します。これまで、和歌山県立医科大学附属病院で消化器内科領域の診療に携わってきました。まだまだ至らぬ点も多々あるかと思いますが、地域の皆様に親しまれる医療を目指し精進してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

専門領域：消化器内科
出身大学：帝京大学



認知症マフ作成に 取り組んでいます



認知症の方の不安や落ち着きのなさを軽減
するための、柔らかくカラフルな筒状のニット
製品です。身体拘束具の解除にもつながり、
注目を集めています。

認知症マフは

認知症の方が手で触ったり、筒の中に手を入れたりして使用します。
触覚や視覚への刺激を通じて認知機能の支援にもつながります。
マフの中のアクセサリーを握ったり、
自分の趣味や職業に関連したデザインを見たりすることで、
過去を思い出すきっかけになることもあります。
これらの刺激が脳の活性化を促し、認知機能の維持や改善に
寄与する可能性もあります。



♥ 認知症マフに期待される効果 ♥

☆ ストレス軽減の助けになる

認知症患者は慣れない入院で、自分に起きている変化に不安を感じやすく、点滴やチューブ類が気になって、外してしまうことがあります。記憶が失われる一方で、感情が強く残りやすいです。落ち着ける素材のマフは、不安や恐怖などの強い感情を軽減できる可能性があります。

☆ 介助の助けになる場合がある

認知症の方の意識や、手でいじる対象がマフに落ち着くことで、介助がスムーズになる場合があります。認知症の方の行動が治療や身体に差し障るレベルになると、やむを得ずミトンなどで身体拘束を行う場合があります。マフを使用すれば拘束することなく、点滴やおむつを勝手に外してしまう行動を抑え、認知機能の支援になります。



なでっち

済生会公式キャラクター



マフ作りにご協力頂ける方募集中

『誰かの役に立ちたい』『認知症ケアの取り組みに興味がある』

『編み物が得意』など、

認知症マフの作成にご協力していただける方や、
資材（毛糸）等をご寄付いただける方を
募集しています。ご協力くださる方がおられましたら、
当院までご連絡ください。（代表 073-424-5185）



済生会和歌山病院 看護部 河原

無料低額診療事業

済生会和歌山病院では医療費にお困りの方に対し無料低額診療事業【自己負担額の免除】を行っています。世帯の収入額や家庭状況等をお聞きし、ご相談のうえ決定します。詳細は地域医療連携室・医療ソーシャルワーカーへお問い合わせください。

地域医療連携室・

医療ソーシャルワーカー TEL.073-424-5185 (代表) 受付時間: [平日] 10時00分~16時00分まで

ご相談
ください!



地域と共に、和歌山と共に、これからも共に、済生会和歌山病院



済生会和歌山病院外来診療予定表

(令和7年1月6日現在)

区分		月	火	水	木	金
フットケア外来		担当医※13:30~	—	—	—	—
内科	糖尿病代謝内科	福田咲子 虎谷恭兵	英 肇 担当医	岩倉 浩	英 肇	太地真衣美 担当医
	循環器内科	尾鼻正弘 禁煙外来(13:00~)	医大応援医師	尾鼻正弘	下角あい子	下角あい子 医大応援医師 (予約のみ)
	呼吸器内科	高木 陽	—	赤松弘朗	高木 陽	—
睡眠時無呼吸症外来(PM)		—	太地真衣美※6	堀川禎夫※6	—	高木 陽※6
リウマチ・膠原病科		—	—	—	安武美紗生※13:00~	—
脳神経外科		三木潤一郎※8	小倉光博※1 栗山衣美	小倉光博※1	三木潤一郎※8 栗山衣美	仲 寛 (第1・3・4・5週) 山家弘雄 (第2週)
もの忘れ外来(PM)		—	—	小倉光博	小倉光博	—
消化器病 センター 大腸肛門病 センター	消化器内科	川口雅功 ※10:00~	吉田岳市 和田 梓	川口雅功 矢本紗千	和田 梓	川口雅功 吉田岳市
	外科(消化器)	中井博章	—	中井博章	—	中井博章
心臓血管外科		藤本貴大 生地みづ穂※4	高垣有作 (リンパ浮腫)※5	下肢総合 診療センター (予約紹介のみ)※7	藤本貴大	藤本貴大 生地みづ穂※4
整形外科		古梅 祐 神前拓平	川上 守 山崎 悟 藤木貴顕 野田雄祐	新 患 診	川上 守 山崎 悟 神前拓平 古梅 祐	藤木貴顕 野田雄祐
人工関節センター		—	—	—	山崎 悟※3	—
耳鼻咽喉科		担当医	—	担当医	—	—
腎センター		—	—	—	岡本昌典	—
眼 科		—	鈴木映美	—	—	石川伸之
皮膚 科		野田佑奈	—	山本有紀※2 (皮膚外科)	—	—
泌尿器科		—	—	康原根浩	—	曲 人保

専門外来

- ※1 脳神経外科 小倉光博医師(火・水)の外来では一般診療に加え、専門外来(三叉神経痛・片側顔面麻痺・舌咽神経痛)を行っております。
- ※2 皮膚科 山本 有紀医師(水曜日)は皮膚外科専門外来の為、予約診のみとなります。
- ※3 人工関節センター 山崎 悟医師(木曜日)は15:00から予約診のみとなります。
- ※4 血管外科 生地 みづ穂医師(月・金)は13:30~15:30となります。
- ※5 血管外科 高垣 有作医師(火曜日)は予約診のみとなります。
- ※6 睡眠時無呼吸症外来は13:00から予約診のみとなります。
- ※7 下肢総合診療センターは予約診のみとなります。
- ※8 脳神経外科 三木 潤一郎医師(月・木)片頭痛外来は13:30から予約診のみとなります。

診療案内

診 察 日: 月~金曜日
 受付時間: 午前8時30分~午前11時(但し、予約患者は除く)
 休 診 日: 土・日・祝祭日(年末年始)



済生会和歌山病院
 ホームページQRコード



ご紹介の際は、患者さんの待ち時間短縮の為に、ご予約をお取り下さいますようお願いいたします。

交通案内

- JR和歌山駅から和歌山バス約10分「京橋」下車、徒歩すぐ
- 南海和歌山市駅から和歌山バス約5分「京橋」下車、徒歩すぐ

地域医療連携室

TEL (073) 424-5186 FAX (073) 424-5187